

縁の下の力持ちとして、  
安心安全な生活の基礎を支える。



**松島 凧**さん(1998年生まれ)  
名古屋南高校 出身  
中部大学 工学部建築学科卒業

**名古屋港管理組合**  
名古屋市港区港町1-11  
<https://www.port-of-nagoya.jp/>

なるためには  
●必要資格 / 特になし  
●主な進路 / 高校卒業→大学で建築について学ぶ→名古屋港管理組合に就職→管理する建物の設計に携わる

— 学生時代

「父が建築・設計の仕事をしていて、父が設計した家で生活をしていましたし、身近に建築模型がある環境でした。自然と自分もやってみたいと思うようになり、高校生のときには建築の道に進もうと明確な目標を抱いていました」

大学時代について教えてください。

「高校卒業後は、中部大学建築学科に進学しました。好きだったのは意匠の講義、美術館や自動車デザイナー、住宅など、決められたテーマに合わせて設計をして図面を描きました。さらに模型制作やプレゼン資料づくりも。どういう考えでこのカタチにしたのか、そのプロセスなどを第三者に伝えるのはとても勉強になりました。あとは学生団体の幹部を経験したことも印象深いです。いろいろな人と関わる機会があり、そこで養ったチームワークはいまでも役立っていると思います」

— 仕事について

「大学卒業後は、名古屋港管理組合に就職。1年目から、名古屋港水族館の設計の委託業務などの仕事を任せてもらいました。最初は何もわからないので、自分で調べたり先輩に聞いたりして常に学ぶ姿勢だけは忘れないようにしていました。係長、先輩が近くにいたので、不安もありましたが心強かったです」

具体的にどのような業務を?

「ペルギーの棟の天井の脱落対策(メイン写真の奥)です。現場で外部業者の方と打ち合わせをして、提案

— メッセージ

「私は大学で建築の基礎を学びました。建築材料の講義や、鉄筋やコンクリートの強度を測る機械を使った実験はとても勉強になったと思います。構造力学など、社会に出てから学び直している部分もあるので、みなさんも大学での学びを大切にしてくださいね。仕事の質を上げられるかは自分次第です。『こうしたほうがもっとよくなる』という気持ちで追求できる人が活躍する場所です。高校時代は、今しかできないことを探して挑戦し、それを糧にしてほしいです!」

ありがとうございます。



現在の仕事内容を教えてください。  
「私たちの仕事は、決して目立つものではありません。でも見えないところで、みなさんの安心安全な生活の基礎を支えているんです。現在進んでいる水族館の天井の脱落対策も、来館者の安全を守るためです。現在の業務は、築30年を過ぎた水族館(南館)の建物の劣化進行具合を調査した結果資料をもとに、どのような補修が必要なのかを検討しています。建物の健康診断のようなものですね」

— やりがい

「設計、施工管理など、幅広く建築の仕事に携われるところに魅力を感じています。工事現場の様子を見に行く、携わったところがカタチになっていくことを実感します。その光景に大きな感動を覚えますね。現在2年目で、プロジェクトが完了する達成感はまだこれから。その日がとても楽しみです」



自分探

18歳 父の影響で建築の仕事を目指す。高校卒業後、中部大学に進学。  
22歳 意匠や建築材料について学ぶ。卒業後、名古屋港管理組合に就職。  
23歳 名古屋港水族館の委託業務を担当。市民の安心安全な生活を支える。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



お客様に寄り添って  
カーライフをサポートする。



**花田将也**さん(1997年生まれ)

名古屋工業高校 出身

ADWホールディングス株式会社

Audi名東

名古屋市中区千代田区3-2-5

<https://www.audi-meito.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→輸入車を取り扱う企業に就職→販売店に配属→保険販売、中古車査定士の資格を取得

— 学生時代

「大工や建築の仕事に興味があり、名古屋工業高校の建築科で製図や設計について学んでいました。でも時代の流れで職人が減ってきていて、自分の思い描いていた未来が見込めないと思い大工の夢はあきらめることに……。次の目標も見つからないまま卒業を迎え、とりあえず工場に就職することにしました」

— 仕事について

「工場で働くなかで、やったらやっただけの評価・対価がもらえる営業の仕事がしたいと思うようになりました。それなら自分が好きなもの、本当にいいと思うものを販売したいと思い、『アウディ』『フォルクスワーゲン』『ベントレー』などの輸入車を取り扱うADWホールディングスに転職しました。いきなりセールスとして働くのは難しいということ、最初は車をコーディネートする部署で経験を積むことに。いろんな車を触りながら、デザインや構造、機能など学びながらコーディネートができました。劣化しやすい箇所やプレスラインの入れ方の特徴など、メーカーごとの細かい違いの発見にもつながり、多くのことを学べたと思います」

セールスに異動してからのことを教えてください。

「Audi名東」に配属されました。最初は、展示車の洗車やお客様のご案内から。先輩の訪問の仕方や提案の仕方を学びながら、徐々にお客様を任せてもらえるようになります」



現在の仕事内容を教えてください。

「車ってみなさんが乗るものだし、日々の生活のなかでも重要なものだと思います。私たちは、車の販売をしています。モノを売るだけの仕事ではありません。お客様に寄り添ってカーライフをサポートすることが仕事です。事故をしたときやご家族が増えたときなど、場面ごとにサポートや提案をおこないます」

心がけていることは？

「お客様が本当に求めているものは何か、しっかりとニーズを把握することです。現在の生活スタイルや家族構成に合っているか、現状の車の気に入っている点や困っている点などをお伺いし、お客様の立場になって考えることを心がけています」

— やりがい

「対お客様とのやりとりなので、どれだけ自分のことを気に入ってもらえるかが重要な仕事です。お客様から「花田さんの人柄がいいからアウディに決めました」と言ってもらえたときはうれしかったですね。あとは、「買ってよかったー」「いろいろ助かりました。ありがとうー」といった言葉にやりがいを感じます」

— メッセージ

「入社後に、保険販売、中古車査定士の資格を取得する必要があります。欲を言えば積載車が運転できる免許もあるといいですね。高校時代は、自分のやりたいことを見つけて、それに対して勉強したり行動することが大切です。私はその目標を途中で見失ってしまいました。次の目標がもっと早く見つかったらいいという後悔もあります。みなさんは、いろんなものに興味をもって挑戦してみてください。そのなかで見つけることができるとおもいますよ」

ありがとうございました。



自分探し

18歳 目標が定まらないまま高校卒業を迎え、工場に就職。

20歳 自分の好きなものを販売する仕事がしたいと思い、転職。

24歳 Audi名東に勤務。お客様のニーズを把握し、カーライフをサポート！

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



ファッションを通して、  
お客様や関わる方々の人生を豊かに。



**安藤君笑**さん (1975年生まれ)

愛知淑徳高校 出身

中京大学 商学部 (現:経営学部) 卒業

株式会社ヴィラージュ

名古屋市中区栄5-16-1 南久屋ビル2F

<https://www.v-rouge.com/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→ロサンゼルスでの語学学校に通う→地元パレルショップに入社→会社を退職し、自身のセレクトショップを開く

— 学生時代

「中学生のころから海外に興味があり、高校の夏休みにオーストラリアでホームステイを経験。小柄な私は幼く見られがちで、自己表現が大切だと気づかされました。当時の日本は1950年代ファッションが流行し、私は古着やアメカジ、DCブランドなど、いろいろなお洋服が好きで、毎週お買い物していました。『どこで服買っているの?』から会話が始まる、コミュニケーションツールとしてのファッションの楽しさを感じたのもこのときです」

**大学時代について教えてください。**

「人気の古着屋でアルバイトをして、好きなことを仕事にする人たちが身近になると同時に、ファッション業界で生きていく厳しさも体感しました。ロサンゼルスで社員旅行に連れていってもらい、現地のフリーマやショップを訪れたときは、海外とつながる仕事があったという思いが膨らみましたね。卒論のテーマは、百貨店文化でした」

— 仕事について

「大学卒業後はロサンゼルスに滞在し、知り合いの古着屋を手伝いながら語学学校へ3ヶ月通いました。帰国後は、その古着屋&セレクトショップスタッフとして10年勤務。企画から海外買い付け、新規出店、お金の流れ、人材管理まで、全部勉強させていただきました。人脈も広がり、パレルメーカーさんやお客様との縁を大事にしたくて、自分のお店をオープン。7年後に



近所に移転し、現在の『VILLA ROUGE』になりました」

**現在の仕事内容を教えてください。**

「バイキング、接客のほか、オンラインショップやSNSの運営も。コロナ禍以前は、年4回ファッション発祥の地・パリでコレクションを見て、海外でしか取り扱えないアイテムを買いたいのが恒例でした。世界にはいいブランドが揃い、デザイナーさんが真剣に取り組まれているので、皆様の思いや肌で感じた空気感をお客様に届けています」

— やりがい

「ファッションで気持ちが変わり、お客様の輝く姿を拝見できることがうれしいです。客層は20〜70代まで幅広く、前職の古着屋から通ってくださる方や、母子で来られる方も。最近はSNSの顧客様も増えました。『世界のファッション情報発信基地でありたい』と願い、私たちが大切にしている空気感をどう伝えるかを考え、頼もしい仕事のパートナーやスタッフと一緒にお店の価値を作っています。仕事は自分のライフスタイル、自分を大事にしながら仕事を長く続けたいです」

— メッセージ

「知識×経験が求められるので、大手企業に就職してファッションビジネスを勉強したり、多くの方にお話を聞いたり、経験を積みながら知識を身につけるのもいいと思います。そこで意識したいのは、『その時の時のプロになること』です。飲食店勤務も接客にいかされず、ショップ経営にはブランドニングやマーケティングの考え方も必要です。職業も趣味も回り道ばかりで近道はありません。すべてつながっていて、どこかで絶対にいきてくると自分を信じて頑張ってください。ありがとうございます」



自分探検

18歳 古着屋のアルバイトで、ファッション業界の人たちから影響を受ける。

36歳 独立し、栄にセレクトショップ『Villa Rouge』をオープン。

46歳 開業10周年を迎え、店舗とSNSでファンが拡大中。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



多くの人から愛されるお菓자에  
関わることが仕事のやりがい。



**荻須道隆**さん(1997年生まれ)  
名古屋市立富田高校 出身  
名古屋デジタル工科専門学校 卒業

**共親製菓株式会社**  
名古屋市西区名西1-15-2  
<https://kyoushin-s.co.jp/>

なるためには  
●必要資格 / 特になし  
●主な進路 / 高校卒業→専門学校に進学し、バイオ工学について学ぶ→製菓メーカーに就職

— 学生時代

「高校時代は、いまでも仲よく付き合っている友達に会えたことが一番の思い出ですね。昔から人と話すことが好きだったんです。高校を卒業してからは、名古屋デジタル工科専門学校でバイオ工学について学びました」

— 専門時代について教えてください。

「遺伝子組換えや、味噌や醤油などの食品発酵、水害防止についてなど幅広く学びました。その中で一番興味を湧いたのは食品についてです。なので、就職するなら食品関係の企業と決めていました。共親製菓を見つけたのは、企業説明会に参加したことがきっかけです。『さくらんぼ餅』や『フルーツの森』など、昔から大好きな駄菓子を作っていることを知り、就職を決めました。説明会で出会った現在の上司が気さくに話しかけてくれたことや、会社の雰囲気にも惹かれたことも決め手になっています」

— 仕事について

「入社当初はゼリーの製造工程を担当し、それから包装工程のリーダーを任せられました。リーダーとして、機械の修理、発注、製造の段取りに加えて、生産性の向上や5S活動(整理・整頓・清掃・清潔・躰)に努めるなど、職場環境の改善にも力を入れていました」

— 現在の仕事内容を教えてください。

「さくらんぼ餅は、まず釜で餅飴の生地を作り、ロール機でその生地を伸ばし、裁断機でカットしたあと、

— メッセージ

「やる気と強い精神力があれば、特に必要な資格などはありません。考えるより行動にすぐ移せる人が社会では求められると思います。『考より行』です。学生時代は、とにかく行動をして、いろいろなことを経験してほしいです。社会人になるとお金があっても時間が作れなかつたりするので、時間のあるいまのうち無理をしてもたくさん遊んでおいてください。あとは、私のおすすめは共親製菓の『こんにやくゼリー』。『もっちゃんだんご』をぜひ食べてみてください!」



写真1

「松露がけをして包装工程に渡されます。いま私は、その松露がけを担当しています。具体的には、レボパン(写真1)という大きな機械の中に裁断された飴を入れて、蜜や砂糖などをコーティングする工程です」

— こだわりについて教えてください。

「蜜をかける作業は、一気にかけてすぐりと飴同士がくっついて固まってしまうので、5ミリくらいの線にして入れていきます。飴の固まり具合によって砂糖を入れるタイミングを調整したり、ほかの作業も並行してやらなければいけなかったりと、思った以上に技術のいる職人技なんです。最初は大変でしたが、回数を重ねて試行錯誤し、先輩から『センスがあるね!』と言われるまでに成長することができました」

— やりがい

「自分の好きなことが仕事にできているのでうれしいです。私の作ったお菓子を好きな友達がいったり、多くの人から愛されて、馴染みのあるものに携わることがやりがいです。工場見学に来てくれた小学生たちが、キラキラした目で見てくれることもうれしいです」



自伝

19歳 高校卒業後、専門学校でバイオ工学について学ぶ。  
20歳 共親製菓に就職。包装工程では、チームリーダーを務める。  
24歳 松露がけを担当。多くの人から愛されるお菓子づくりに携わり、やりがいを感じる日々。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!  
<http://amb100search.com>



お客様がゴルフをより楽しめるよう、集中できるようにサポートすること。



**伊藤里奈**さん(1999年生まれ)  
緑丘高校 出身

**緑ヶ丘カンツリークラブ**  
名古屋市守山区吉根長廻間3241  
<http://www.midorigaoka-cc.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→ゴルフ場に就職→先輩に付いてコースを回り、専門知識を身につける→キャディとして勤務

— 学生時代

「高校時代は、バスケットボール部に所属していました。振り返ると部活の思い出が多いですね。物事を後回しにしない、嫌なことからも逃げない精神力が身につきましたし、部活を通していろいろな部分で成長できたと思います。キャディになろうと思ったきっかけは、『あなたの性格に合ってると思うよ』と高校の先生にすすめられたから。最初はゴルフのルールもわからない状態だったので、知らない世界に対して大きな不安もありました。でも『せっかくの縁だしチャレンジしてみよう！』という気持ちのほうが強かったですね。高校卒業後、緑ヶ丘カンツリークラブに就職しました」

— 仕事について

「半年の研修期間があり、ウッドやアイアンなどゴルフクラブの種類やゴルフのルール、キャディとしての実務を覚えていきました。最初は先輩キャディに付いてお客様と一緒にコースを回り、バンカーやグリーンなどコース内の名前を覚えたりゴルフの基本知識を学びます」

最初、苦労したことは？

「入社当初はゴルフの知識がまったくなかったので、専門用語や知識など覚えることが多くて大変でした。でも入社後に私もゴルフを始めたとことで、仕事への向き合い方が変わったと思います。自分もプレーすること、『こうされるとうれしい』といったお客様目線の気持ちが変わるようになりました」



現在の仕事内容を教えてください。

「私たちキャディの仕事は、お客様がゴルフをより楽しめるよう、集中できるようにサポートすることです。コースの狙い目や特性に合わせて、クラブを渡したり、距離やグリーンの傾斜などをアドバイスしていきます」

心がけていることは？

「楽しい時間を共有できるように、笑顔で明るい接客を常に心がけています。最後にバターがきれいにいった瞬間は、お客様と一緒に喜びを共有できますよ！一方で、集中して黙々とゴルフに取り組みたいお客様には、そこまで話かけたりはせずに、距離を伝えたり、クラブを渡したりする程度で、集中できる環境づくりを意識しています」

— やりがい

「最後にお客様から、『1日ありがとうございました。伊藤さんがキャディでよかったよ！』と言ってもらえるとうれしいです。お客様の役に立てたことを実感できる瞬間です。今後はいろいろな経験を重ね、キャディとしてもひとりの人間としてももっと成長していきたいです」

— なるためには

「特に必須資格はありません。コースを回る体力、やる気と根性さえあれば問題ないですよ(笑)。あとは、若い方から親世代の方まで幅広い年代のお客様と接するので、どんな方でも笑顔で対応できるコミュニケーション力も大切になってきます。学生時代は、部活でも趣味でも勉強でも、ひとつのことに集中して最後までやり遂げてほしいです。飽きて途中で辞めてしまうのはもったいないですよ。一度始めたことは、結果が出るまで頑張ってくださいね！」

ありがとうございます。



先輩

- 18歳 部活に熱中した高校時代。精神力を鍛えられる。
- 19歳 緑ヶ丘カンツリークラブに就職。研修を通して専門知識を身につける。
- 21歳 楽しい時間やよろこびを共有できるよう、笑顔で明るい接客を心がける。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ！  
<http://amb100search.com>





お客様の困りごとを、  
相手の目線に立った提案で解決する。



**三尾穂高**さん(1994年生まれ)  
名古屋南高校 出身  
愛知学院大学 商学部卒業

**名鉄協商株式会社**

名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号  
<https://www.mkyosho.co.jp/>

- なるためには
- 必要資格 / 特になし
  - 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→総合商社に就職→キャリアの営業を担当→保険販売の資格を取得

——学生時代

「ハンドボール部に所属し、卒業するまでは部活が中心の高校生活でした。私は高校から始めた初心者経験者とは実力の差がありました。レギュラーを目標にして練習に励みましたが、結果レギュラーにはなれませんでした。努力を続けたことは、いまにいきる経験になっています。高校卒業後、愛知学院大学に進学しました」

——大学時代について教えてください。

「商学部に進学し、ビジネスにおけるお金の流れや簿記などについて学びました。高校時代と比べて幅広い年齢の人と出会う機会が多く、大学生活を通して世界が広がりました。私はいろいろなことに興味があったので、就活の軸にしたのは、幅広い事業を展開する総合商社。名鉄協商がバッチリその条件に当てはまると思います。大学の就活セミナーで見たときも、楽しそうな雰囲気が印象的でした」

——仕事について

「入社後の研修で、学生から社会人へ意識を切り替える必要があると感じました。ただ言われたことをやるだけでなく、主体的に動くことの大切さを学びました。研修後、私が任されたのはキャリアスの営業です。新規のお客様を獲得するために、テレアポや新規訪問営業をおこないました。新規訪問営業は本当に大変な仕事で、100件行つて1件話を聞いてもらえるかどうか。精神的にも鍛えられたと思います」



——現在の仕事内容を教えてください。

「お客様の困っていること、足りないとところを、弊社の商品で解決することが仕事です。名鉄協商は名鉄グループの一員で、パーキングや不動産、食品や建設など、幅広くさまざまな事業を展開する総合商社です。弊社ならではのメリットを打ち出したキャリアスの提案を心がけています。お客様から、『燃費を上げたい』『荷物をたくさん載せたい』などの要望を聞き、最適なプランを考えて提案します。私たち営業が販売したいものと、お客様がほしいものが一致するとは限りません。お客様の目線に立つて相手が求めているものを提供することが大切です」

——やりがい

「高額な商品なので、提案がその場で即決で決まることはほぼありません。長い時間をかけて商談を続け、『三尾さんがこれだけやってくれたから決めるわ』と言っていただいたときはうれしかったです。お客様の困りごとに対応できたときに、『名鉄協商さんでよかったです!』というありがたい言葉をいただくこともあります」

——なるためには

「入社時に必須となる資格は特ではありません。キャリアスの営業は各種保険を取り扱うこともあるので、私は入社後に保険販売の資格を取得しました。人のために働きたい、困っている人を助きたい。そんな気持ち強い人に向いている業界だと思います。高校時代は、なんでもできる時期やりたいことが見つかったりしている人は、その目標に向かって頑張ってください。私は大学生活のなかでそれを見つけたました。目標が見つかったりしている人もまだの人も、今を全力で楽しんでください!」



18歳 部活が中心の高校生活。卒業後は、愛知学院大学に進学。  
22歳 幅広い世代の人との出会いを通し、視野を広げる。卒業後、名鉄協商へ。  
27歳 キャリアスの営業を担当。常に、相手の目線に立った提案を心がける。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!  
<http://amb100search.com>



まだ世の中に存在しないモノを生み出し、世界中の人をワクワクさせたい。



**水野菜央**さん (1995年生まれ)

南山高等学校女子部 出身  
名古屋工業大学大学院 生命・応用化学専攻修了

**ブラザー工業株式会社**

名古屋市瑞穂区苗代町15-1  
<https://www.brother.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→理系の大学に進学→プリンター、複合機などを展開する企業に開発職として就職

— 学生時代

「高校時代はバレーボール部に所属し、部活に熱中していました。チームみんなで協力して同じ目標に向かって練習に励んだ経験が思い出に残っています。3年生になってからは、化学の授業が楽しいと思うようになりました。特に実験の時間。大学でも化学を学びたいと思い、名古屋工業大学に進学しました」

「**大学時代について教えてください。**」

「印象に残っているのは、プラスチックにセルロースなど別の材料を混ぜて強度を高めたり、違う特性を出す実験。4年間の研究では満足できず、大学院に進学して材料系の研究を続けました。セルロースに化学反応を起こしてプラスチックに混ぜたり、という方法だったら成功するのか仮説を立てて実験を繰り返しました。あきらめない心で身につきましたし、いろんな意見に耳を傾けながらコミュニケーションをとってチームで研究を進めるといふ姿勢は現在も役立っています」

— **仕事について**

「学んだ化学の分野だけでなく、機械や電気など幅広い分野の知識も身につけて自身を成長させたいと思ひ、プリンターや複合機、ミシン、工作機械など幅広い事業を展開するブラザー工業に就職しました。最初に学んだのは、インクに関する知識から。写真の印刷に向いている染料インク、文字の印刷に向いている顔料インクなど、インクの種類ごとの特性や、どのような経緯で開発さ



「**現在の仕事内容を教えてください。**」

「Tシャツなどの生地には直接プリントできる産業用プリンターのインク開発をおこなっています。営業担当がお客様の声を吸い上げて、より満足してもらうためにはどういったインクが必要かをチームで考えます。仮説を立てて実験をするのですが、最初は失敗がほとんど。結果をもとに原因を考えてトライアンドエラーを繰り返します。まだ開発に携わって3年目。経験がものをいう世界ですが、若手ならではの新しい目線もいかしていきたいです。そして将来は、世界中の人がワクワクするような製品を開発したいです」

— **やりがい**

「まだ世の中に存在していないモノを生み出せることが研究開発の意義。自分が立てた仮説どおりに研究が進んだときにやりがいを感じます。他社にはない色の鮮やかさを出せたり、狙いどおりの色味が出せたりするとうれしいですし、それが会社の価値を上げると思っています。研究に取り組んでいます」

— なるためには

「インクの知識は入社してから勉強しましたが、開発職をめざすなら理系の大学で化学の知識を身につけておくべきです。あとは、チームで開発を進めることになるので、協調性やあきらめない心も大切です。それ以外は特に必須となる資格はありません。この仕事は、実験が好き人や新しいものが好きな人に向いていると思います。まずは、高校生活を通して自分のやりたいことを見つけてください。そしてそれを全力でやり遂げてほしいです！**お忙しいところ、ありがとうございます。**」



自分探

18歳

バレーボールに熱中した青春時代。高校卒業後、名古屋工業大学へ。

24歳

さまざまな研究を通し、あきらめない心やコミュニケーション力を養う。

27歳

インク設計者として日々の仕事に取り組む。目標は世界中の人がワクワクするような製品を生み出すこと！

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>



まちに住む人が、自分たちで生活を楽しくするきっかけづくり。



**内海慎一**さん (1983年生まれ)  
 旭丘高校 出身  
 慶應義塾大学 環境情報学部卒業

**LifeWork**

<https://www.facebook.com/shinichi.utsumi.79>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→大手広告代理店「電通」中部支社に勤務→「studio-L」に所属し、コミュニティデザイナーになる→フリーランスとして独立

— 学生時代

「服装も髪型も自由な学校で、美術科の仲間とバンドを組んだり、大須に古着を買いに行ったり、やりたいことをしました。3年間サッカー部に所属し、勉強に本腰を入れるのが遅くて1年浪人。経済学部志望でしたが、浪人時代の誕生日に友人からもらった雑誌の安藤忠雄特集を読んで建築に目覚め、建築を学べる文系の学部へ進路変更しました」

「慶應義塾大学の環境情報学部に進学しました。建築が楽しくてしようがない、特に坂茂ゼミが自分にぴつたり合って『建築が遊び』でしたね。好きな建築家や大工の建築にふれ、休みごとに海外の建築プロジェクトにも参加しました。恩師の坂先生とは現在も交流があり、各地の復興支援活動を手伝っています」

— 仕事について

「卒業後、留学したかったのですが金銭面で断念し、お金を貯めるために年収ランキングを調べて就職活動をスタート。同じ学部の先輩が多く就職していた広告代理店に興味をもち、電通に入社しました。自分の成長曲線とともに楽しく仕事していました。好きな建築の未来を諦めきれませんでした。働きたがら建築デザイン系の大学講義やイベントに行きまくっていたところに出会ったコミュニティデザインの第一人者・山崎亮さんに、『自分も地域に入って建築に近い仕事したい』と会社を辞めて直談判し、山



崎さんが代表を務める「studio-L」のメンバーになりました。いまはフリーランスとして活動しています」

「現在の仕事内容を教えてください」

「コミュニティデザイナーの役割は、地域に住む人が地域の課題を自らの力で解決するため、心を動かすデザインの手助けをすること。地域振興や新施設の建設などのプロジェクト初期に、ワークショップと呼ばれる話し合いの場を設けて、生活する人がまちのことに関われるきっかけを作り、『暮らしをよくするために何かやりたい!』という気持ちが高まるように、小さな成功体験と一緒に積み重ねていきます」

— やりがい

「まちに住むことをその人の形で楽しめる人が増えていくように、まちのことを本気で考えるチームの関係ができあがるまでの道のりを、いねいに伴走します。長い年月をかけて悩みと反省を繰り返しながらサポートしつづけて、ようやく実を結ぶようになってきました。最初の活動をきっかけに、その人自身の行動が変化した様子を、SNSで見ることがうれしいです」

— メッセージ

「コミュニティデザイン学科のある大学を選ぶのもいいですし、地元のものを取り組みに積極的に参加してみると、コミュニティデザインのヒントが見えてきます。その幸運は偶然ではないんです! まず行動すれば、新しい経験ができ、可能性が広がる」という、クランボルトのブランド・ハップンスタンスの考えですね。思わぬ未来だからこそ楽しい! さまざまな人と接するので、高校時代はコミュニケーション力と人間力を磨き、素直にいろいろなことをやってみてください! ありがとうございます」



自分探検

- 19歳 大学1年から坂茂ゼミに入り、セルフビルドと災害支援、動く姿勢を学ぶ。
- 23歳 「電通」のプロモーション部で、販促やイベント企画・運営に携わる。
- 38歳 コミュニティデザイナー-10年目となり、名古屋と尾道の2拠点で活動中。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



電波というカタチのないものに  
価値をつける仕事。



虎澤友理さん(1996年生まれ)

南山高等学校女子部 出身  
慶應義塾大学 法学部卒業

株式会社ZIP-FM

名古屋市中区丸の内3-20-17 KDX 桜通ビル17F・18F  
https://zip-fm.co.jp/

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、演劇を通して人に楽しみを届けることを経験→ラジオ局に就職→営業部に配属

—学生時代

「高校時代はバレーボールに熱中していました。部活を通して学んだまわりを気づかいないながらプレーする大切さは、いまの仕事にもいかされています。求められていることを返せているかを常に意識できているのは部活動のおかげですね。勉強面では社会の授業が好きでした。政治学科に進学したのも高校時代の興味からきていると思います。」

—大学時代について教えてください。

「主に政治について学んでいて、特に途上国の政治に興味がありました。E.S.Sという英語サークルに入って演劇をしたことも思い出に残っています。役を演じたり、裏方で役者のサポートにも携わったりして、誰かに楽しみを届ける仕事に魅力を感じるようになりました。そんななかで、募集を見つけて出会ったのがZIP-FMです。高校生のときにZIP-FMを聴いていましたし、身近な存在でした。『ここで働いてみたい』というワクワクした気持ちが生えたことが決め手です。」

—仕事について

「私は、営業部に配属されました。最初から、スポンサーや、弊社とスポンサーの間に入っている広告会社の担当が割り振られ、各社とのやりとりをおこなっていました。不安だらけでしたが、心がけたのは自分で答えられる範囲と社内に持ち帰る部分を判断して冷静に対応すること。先輩たちもそれぞれの営業スタイルをもっていきます。相手から聞



かれたことをただ返すのではなく、プラスアルファの情報を入れて返すなど、いいところを吸収していきたいと思っています。自分の好きな分野をリストアップして新規のアタックをしている先輩もいるので、私も舞台関係や語学分野にアタックできたらいいなと思っています。」

—現在の仕事内容を教えてください。

「お客様から広告内容についての要望をヒアリングし、社内に持ち帰り調整したうえで企画書を作成します。ラジオならではの時報への提供や5分間の番組提供などいろいろな広告の種類がありますが、私たちの仕事は電波というカタチのないものに価値をつけて販売すること。どう落とし所を見つけてくるかは営業の技量にかかっています。お客様と向き合うだけでなく、ラジオ番組を制作する編成やリスナー目線の想像力を働かせることも心がけています。こまめに確認、質問をしたり、編成の意見を聞いたりするようにしています。」

—やりがい

「CMを始めてから問い合わせが増えたよ!」と言ってもらえるとうれしいです。CMを辞めるという

選択肢はないよ!と言ってももらえることもあります。そういったお客様からの声を直接もらえることによりがいを感じます。お客様にもリスナーにも満足してもらえるCM番組づくりをしていきたいです。」

—メッセージ

「常に最新のトレンドをキャッチできるようなアンテナを高く張っておくといいですね。営業は人が好きで『何か伝えたい。一緒におもしろいことをやりたい』という気持ちのある人が活躍できる仕事だと思っています。純粋な好奇心を大切に、充実した高校生活を送ってください。ありがとうございます。」



自分史

18歳

バレーボールに明け暮れる。高校卒業後、慶應義塾大学で政治学を学ぶ。

22歳

地元名古屋に戻り、ZIP-FMに就職。営業に配属。

24歳

お客様もリスナーも満足できる放送になるよう、編成と協力して仕事に取り組む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



課題解決のために価値を高め、人を動かすトータルデザイン。



**森葉月**さん (1981年生まれ)

旭丘高校 出身  
名古屋市立大学 芸術工学部卒業

**株式会社クーゲート**

名古屋市中区大須 3-42-30 ALA大須ビル1F  
<https://www.coupgut.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→希望のデザイン会社に入り、仕事に熱中→さまざまなモノやコトのデザインを手がける

— 学生時代

「私服通学の自由な校風で、自己責任のもとに個性的な人たちが学校に集まっていた。バスケット部に所属し、友達と過ごす時間が楽しかったですね。秋恒例の学校祭も生徒主体でおこない、私はクラスTシャツをデザインしたことが思い出に残っています。理系クラスで、進路にはとても悩みました。理工系や自然科学系の道はピンとこず、美大に憧れましたが、校内の美術科を見ていたので、受験デッサンの勉強は間に合わないなど…。入学後の可能性を感じて、新設されて間もない名古屋国立大学の芸術工学部を受けました。**大学時代について教えてください。**」

「見た目と機能・設計を一緒に考える大切さを学んだことは、社会に出てデザイナーになったときの考え方にとても役立っています。焼きものが好きだったので、陶芸部に入り、時間があれば土いじり。大学祭では友人と一緒に、自分たちで作った器を使ったカフェを開きました。」

— **仕事について**

「自分が0から100まで関わる仕事をしたくて、小さいデザイン事務所を志望し、転職サイトでいまの会社を発見。インディーズレーベルのある会社で、その音楽やアートワークもかっこよくて、『ポトフォリオを見てもらえませんか?』とメールを送りました。タイミングよく採用していただき、入社してからは何をやっていても楽しくて、毎日全力で頑張っていましたね。」



現在の仕事内容を教えてください。

「これまで柳橋中央市場や円頓寺商店街常滑、岐阜の東濃エリアなどで、まちと人のよりよい関係を見ていねいに育んでいくデザインのお手伝いをしてきました。デザインと一言で言っても、制作内容はポスターやカタログ、パッケージ、新聞・雑誌広告などの印刷物からWeb、映像、イベント、キャンペーン、ブランディングまでいろいろです。会社で現在受けているのは、公共性の高い案件が中心。一発の打ち上げ花火の仕事で終わらず、長く続くお付き合いを大切にしています。」

— **やりがい**

「まだまだやりきれませんが、デザインのおもしろさは、自分の手がけたもので人の心を動かし、行動を起こしたり、何かしらの影響を与えたりできることです。常滑の仕事では、時間をかけて市の職員さんやいろいろな作家さんとの関係を築きながら、器のイベントを企画して常滑のファンづくりにつなげました。自分が焼きものを作っていた経験が、『これをやったら楽しそう』というアイデアにつながり、学生時代

から興味のあることに全力で取り組んでいてよかったです。」

— **メッセージ**

「デザイナーは制作環境を整えて操作さえできれば、誰でもなれる職業。すべての経験が仕事にいかされるので、『遊びは学び』と考えるだけたくさんさんの興味や好奇心をもっていただきたいです。そして、悩み続けているから、いまがある。私は受験も就職も『まあいっか』とどこかで妥協していたら、きつと全然違う道に進んでいました。悩むことから逃げずに楽しむことを忘れない、どっちも大切ですね。」

ありがとうございます。



先輩

- 18歳 パッケージデザイン学や映像論など、大学の課題に取り組む。
- 28歳 長期的な視点で課題に向き合うデザインの仕事がしたいと気づく。
- 39歳 会社が請け負う名古屋城の年間イベント企画・運営事業で、お土産を制作。

先輩のインタビューをもっと見た方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

